

事務事業実績測定調査

事務事業名称	香里ヶ丘図書館周辺整備調整事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	市駅周辺等まち活性化部			課	市駅周辺等まち活性化部		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	香里ヶ丘地域における若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みの関係者(UR都市機構や庁内関係部署等)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	香里ヶ丘地域のさらなる活性化に向け、香里ヶ丘図書館周辺整備を公民連携で進めるための各種調整が必要である。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	香里ヶ丘図書館周辺整備に係る各種調整を行うことで、公民連携による若年・子育て世帯の定住促進につながる取り組みが円滑に実施される。					
事業概要	香里ヶ丘図書館の周辺におけるUR都市機構や庁内関係部署等との公民連携による取り組みに関する連絡調整					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						意見交換等の結果を踏まえ、各種調整を図ることで、円滑に公民連携による取り組みを実施できる。				香里ヶ丘図書館周辺整備に向けた、UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換を実施。			
指標設定	指標説明					公民連携による取り組みの実施に向け調整を図った件数				UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換の回数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 回			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	達成度	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					1	1	1	1	3	3	3	3
	実績					0				1			
分析					意見交換の結果、令和2年度は調整が必要な取り組みがなかった。				UR都市機構と進捗状況の確認や意見交換を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	239	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	239	
	物件費計	—	—	0	0	—
	歳出計	—	—	239		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	若年・子育て世代の定住促進に向けた拠点として、香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的な整備の考え方に基づき、令和2年7月に香里ヶ丘図書館・中央公園のリニューアルオープンを行った。UR都市機構との意見交換の結果、令和2年度は新たに調整が必要な取り組みはなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、UR都市機構や庁内関係部署等との意見交換を踏まえた公民連携による取り組みに関する調整を行い、香里ヶ丘地域の活性化に関する取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業					
測定年度	2020(R2)年度		部	市駅周辺等まち活性化部	課	市駅周辺等まち活性化部
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	R3	R4
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち				
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち				
	実行計画名	18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出				

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の各施設(公共施設、商業施設等)の利用者及び事業者、並びに市駅周辺への来街者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	駅前広場の交通混雑や周辺施設の老朽化など広域中心拠点として必要な都市機能が充実しておらず、多様化する市民ニーズに対応した賑わいのあるまちになっていない。			
	ターゲットが抱える課題	駅前広場の交通混雑や周辺施設の老朽化など広域中心拠点として必要な都市機能が充実しておらず、多様化する市民ニーズに対応した賑わいのあるまちになっていない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方市駅周辺において、全ての世代が様々なライフスタイルを実現し、交流できるまちとなる。				
事業概要	「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に基づき、本市の中心市街地として魅力あふれる賑わいのあるまちの実現に向けた連鎖型まちづくりの具体化を図るため、枚方市駅周辺再整備基本計画や枚方市新庁舎整備基本構想を策定し、各街区における取り組みを進める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						枚方市駅周辺再整備の将来像である「全ての世代が様々なライフスタイルを実現し、交流できるまち」を関係者や市民等と共有し、具体化が図られる。				「枚方市駅周辺再整備ビジョン」の実現に向けた様々な取り組みを推進する。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					具体化に向けた進捗率 【指標数値の目安:枚方市駅周辺再整備基本計画策定に向けた取り組み及び基本計画に基づく④⑤街区の事業化に向けた進捗50%、③街区の事業進捗50%】				枚方市駅周辺再整備に関する会議等の開催回数			
	指標種類	単位				単位				単位			
		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					40	60	80	100	3	2	2	2
実績					40				2				
達成度					100%				67%				
分析					達成した。				枚方市駅周辺再整備の進捗を踏まえ、枚方市駅周辺再整備基本計画及び枚方市新庁舎整備基本構想の策定に関する会議を開催した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	5.58
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	64,952	58,010	42,645		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	19	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	64,971	58,010	42,645		
	物件費計	6,975	20,319	0	8,540	—	
	歳出計	71,946	78,329	42,645			
歳入	国庫支出金	0	1,700	0	3,850		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	1,700	0	3,850		
一般財源		71,946	76,629	0	4,690		

5. 総括的分析

総括的分析	枚方市駅周辺再整備基本計画及び枚方市新庁舎整備基本構想について、市議会や枚方市における国・府・市有財産の最適利用推進連絡会議、パブリックコメントを経て、令和3年3月に策定した。また、枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業については、大阪府において令和3年2月に権利変換計画が認可されたため、活動結果は想定通りであった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、枚方市駅周辺再整備の実現に向けて、誘導する都市機能などの検討を行うとともに、土地区画整理事業や関連する都市計画の決定などに向けて取り組みを進める。 新庁舎整備については、⑤街区での安全・安心の拠点の実現に向けて、国との合同庁舎やICTを活用した総合窓口などの検討を関係部署と連携を図りながら進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	市駅周辺等まち活性化部				課	市駅周辺等まち活性化部		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標	18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち											
	実行計画名	18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	2025(R7)年度	年度まで
根拠法令等	都市計画法、都市再開発法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市駅周辺の各施設(公共施設、商業施設等)の利用者及び事業者、並びに市駅周辺への来街者				
	サブターゲット	枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発事業区域内の関係者				
	ターゲットが抱える課題	市駅(北口)駅前広場への通過交通や駅周辺住宅地アクセス車両などの流入による交通渋滞、歩行者の回遊空間がないなど、道路や駅前広場等の公共施設が不足している。また、区域内の主要な建物の老朽化が進んでおり、大規模災害に備えた防災・減災力の不足など広域中心拠点として必要な都市機能が充実していない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市駅(北口)駅前広場及び区画道路等の公共施設整備による交通結節点機能の強化とあわせて、土地の合理的かつ健全な高度利用、多様な都市機能と都市居住の集積、歩行回遊性や防災性の向上等総合的に推進することにより、駅を中心とした一体的なまちづくりが実現できている。					
事業概要	他の街区に先駆け、「枚方市駅周辺再整備ビジョン」に定めるまちなか交流拠点及び広域駅前拠点の一部の形成を図るため、駅前広場や区画道路等の公共施設及び多様な都市機能と都市居住が集積する建築物の一体的な整備など、事業の実現に向けた技術的・財源的支援を行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	駅を中心とした一体的なまちづくりにより、魅力あふれる賑わいのあるまちとなる。	まちなか交流拠点及び広域駅前拠点の一部が形成される。	市街地再開発組合に対して、事業推進及び課題解決に向けた技術的・財源的支援を行う。	
指標設定	指標説明	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)
	市街地再開発区域への来街者数(事業により整備された商業施設を対象。R5年度整備予定)	事業進捗率(R2年度~R7年度の年割)	市街地再開発事業補助・負担額合計(概算額)	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	単位 人/日	単位 %	単位 億円
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
達成度	29%		170%	
分析	事業により整備された商業施設を対象とするためR5年度以降に測定する。	市街地再開発組合において公共施設の設計等に時間を要したため想定より減少した。	補助・負担金対象事業のスケジュールの変更により減少した。実績値は令和元年度から繰越した事業費であり、令和2年度予算は繰越した。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	15,511	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	15,511	
	物件費計	—	—	672,814	2,505,448	27%
	歳出計	—	—	688,325		
歳入	国庫支出金	—	—	336,400	1,269,526	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	208,000	1,114,700	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	544,400	2,384,226	
	一般財源	—	—	128,414	121,222	

5. 総括的分析

総括的分析	事業進捗について、市街地再開発組合においては公共施設の設計等に時間を要しスケジュールを変更したが、既存施設の解体や移転補償等の権利者調整を行った。本市では、財政支援として解体工事に関する補助金等の執行を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和7年度の事業完了を目指し、引き続き、事業進捗を把握しながら、国、大阪府と連携して補助金や技術的支援に向けて取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市駅周辺等まち活性化部運営事務											
測定年度	2020(R2)年度				部	市駅周辺等まち活性化部			課	市駅周辺等まち活性化部		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4				
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外									
	施策目標		99.施策体系外									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	所属職員				
	サブターゲット	部内事務担当者				
	ターゲットが抱える課題	事務の効率化を図りつつ、庶務及び他の業務に滞りなく対応する必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	庶務を円滑に行うことができています。					
事業概要	議会对応 予算編成事務 各種照会の対応 サービス管理事務等					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)												
	実績												
	達成度												
分析													

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,385	2,405	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,113	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,498	2,405	2,393		
	物件費計	90	98	49	747	7%	
	歳出計	3,588	2,503	2,442			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		3,588	2,503	49	747		

5. 総括的分析

総括的分析 議会対応・予算編成事務・各種照会の対応・サービス管理事務等を適正に執行した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	事務の効率化を図りながら適正に執行していく。